

水の都

まつえしりつだいいちちゅうがっこう
松江市立第一中学校

三年

ふじい
藤井

さくらこ
桜子

みなさんは水の都と聞いてどんな町を思い浮かべるでしょうか。私の住む島根県松江市は水の都と呼ばれています。そんな松江市がどんな町なのか、紹介したいと思います。

松江市には国宝である松江城があります。その周りを堀川が流れていて、町にも広がっています。堀川が残っているところは全国的にも珍しいそうです。私の家の横にも四十間堀川という川が流れていて、窓からは松江城が見えます。このように私の生活には当たり前のように水の風景があります。

松江城は島根県を代表する観光地です。堀川遊覧船ではその城下町を船で一周することができます。

私は小さいころから堀川遊覧船に乗ることが好きです。堀川遊覧船では歴史的な風景が残る城下町を眺めたり、堀川の豊かな自然を感じたりすることができます。また、堀川にはたくさんの生き物がいて、船頭さんが説明してくれるのでとてもおもしろいです。特に冬の遊覧船にはこたつが置かれ、こたつに入って冬の景色を眺めるのが心地よくて大好きです。

堀川が残っていることで、道路の幅が狭くなったりして、不便なこともあります。ですが私は堀川がある景色が好きなので残っていてよかったなと思います。

松江が水の都と呼ばれる理由は堀川だけではありません。

島根県はシジミの漁獲量が全国一位であることを知っていますか。そのシジミは松江市の宍道湖でとれます。

宍道湖は全国で七位の面積を誇る大きな湖です。

私が小学校三年生のころ、学校の行事でシジミ漁の体験をしました。当時の私にとっては重たい道具でとても疲れました。そのあとみんなで食べたシジミ汁が今までで一番おいしかったことを今でも覚えています。

シジミのほかにも宍道湖では様々なおいしいものがとれます。中でもスズキ、モロエビ、ウナギ、アマサギ、シラウオ、コイはしじみと共に宍道湖七珍と言われています。

宍道湖は食材が豊富なだけではなく、綺麗な夕日を見られるフォトスポットがあったり、宍道湖沿いを走る電車から眺めたりすることができます。そんな宍道湖の景色で私が一番好きなのは夏に宍道湖で毎年行われる花火大会での景色です。私も幼い頃から毎年行っており、夏の一番の楽しみでもあります。

このように松江市は水との関わりが深く、とても美しい町です。

ですが昭和四十年代の堀川は家庭排水が堀川に直接流されていたため、水質が悪化し悪臭が漂い、魚が大量に浮くことがしばしばあるなど最悪の状態だったそうです。そこから水質を改善するために下水道を整備したり、大量の底泥を除去したりするなどの取り組みを続け、水の都と呼ばれるまで改善しました。

そんな水の都を再び人間の手で汚すことがないといいなと思います。

水を守るために、排水に流れる残飯の量を減らしたり、油を新聞紙などで拭き取ってから流したり、私たちにもできることはあります。

私はこの町が大好きです。美しいこの町がこれからもずっと続くように守っていきたいです。